



漫画くっちゃん昔ばなし  
第3章  
「倶知安の行政と小学校の始まり」

©2018一般社団法人倶知安観光協会

漫画くっちゃん 昔ばなし ～ 第3話～

— 倶知安の行政と小学校の始まり —



俱知安村の設置は  
明治26(1893)年12月16日  
である

このころの俱知安 基線通り



基線  
原野を開拓する時 測量のための  
基本の線を作った。のちに道路ができて  
街の基本線となる



ただし 行政は舩田村に  
置かれていた 戸長役場が  
行ってたんだ

クレミ  
(くちやん)  
あぶた  
舩田



戸長役場って  
な〜に?  
明治時代の初めに  
戸長が 戸籍事務などを  
行った役所のこと  
今の町村役場の前身だよ



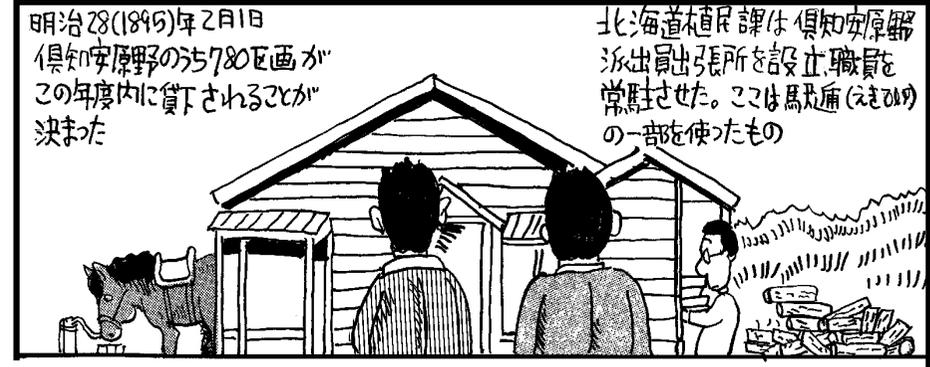
しかし 役場が遠く離れた  
ため 俱知安原野の  
住民は不便を感じて  
数年が経過していた



この実情を説明  
してクッチャン原野に  
出張所の開設を  
願い出してみよう!!



そして明治28(1895)年8月  
どうや  
ったね  
これで不便も  
解消されるかな



明治28(1895)年2月1日  
俱知安原野の約780区画が  
この年度内に貸下されること  
が決まった

北海道住民課は 俱知安原野  
派出所出張所を設立 職員を  
常駐させた。ここは馬太庵(えまのあな)  
の一部を使ったもの

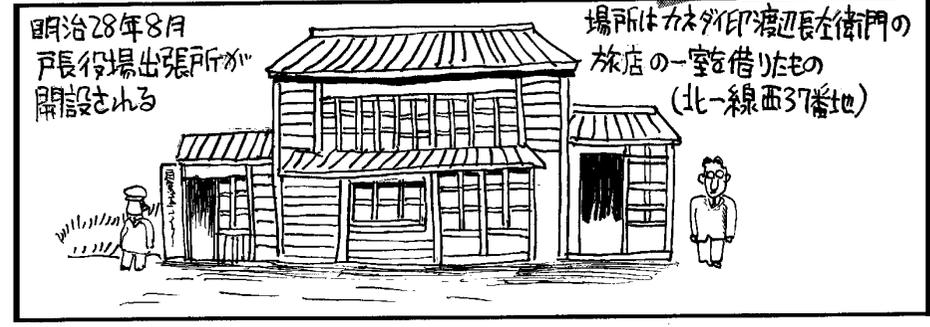


貸下は 1区画1万5千坪(5町歩)で  
一戸につき1区画が 原則だった



願書は3月1日から31日まで  
受理され 土地の引き渡は  
4月15日から5月4日まで  
決められていた

しかし初日に  
950通に達した!!  
女んまり  
産まらな  
かもね



明治28年8月  
戸長役場出張所が  
開設される

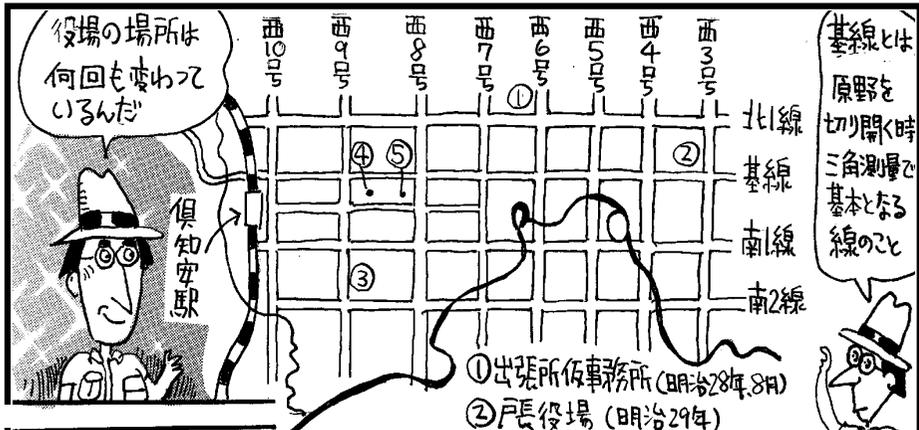
場所はカネタケ印彦刃長左衛門の  
旅店の一室を借りたもの  
(北一線西37番地)



清野志馬が事務を取った  
大河内章三郎という  
医員もここを借り開業



室蘭警察署有珠分署から  
巡査1名が派遣され  
馬太在所もここに設置された



戸長役場出張所の  
最初の仕事は俱知安原野を  
20の組に分けてそれぞれの  
戸数を確認することだ

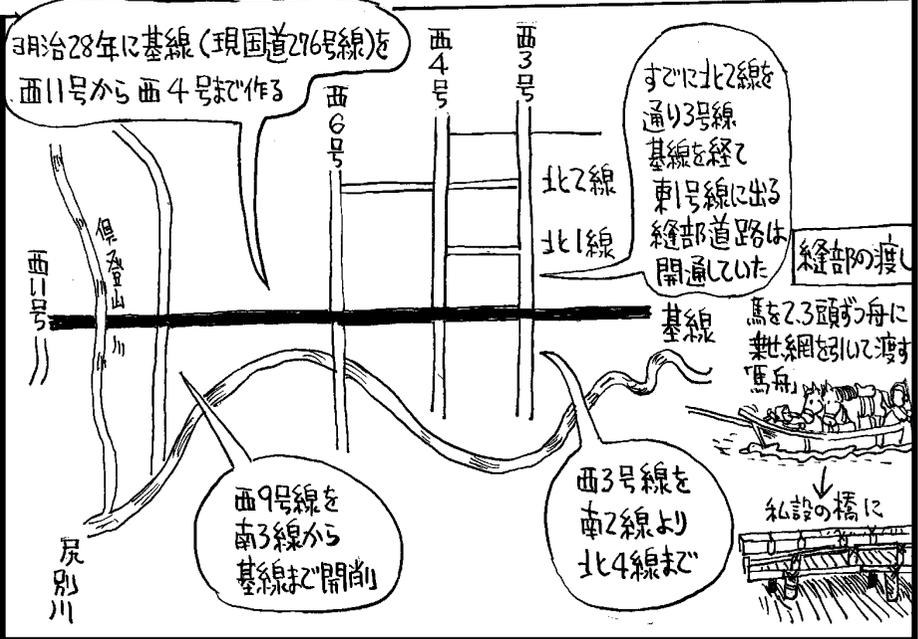
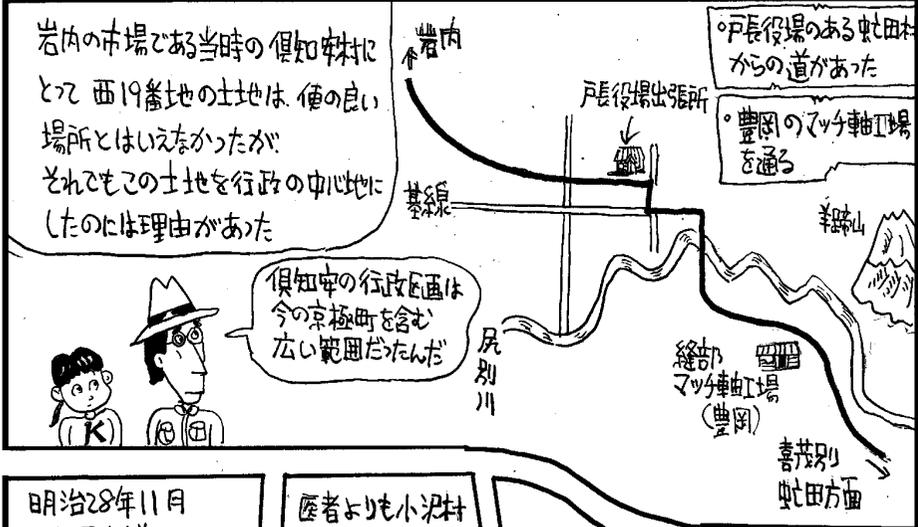
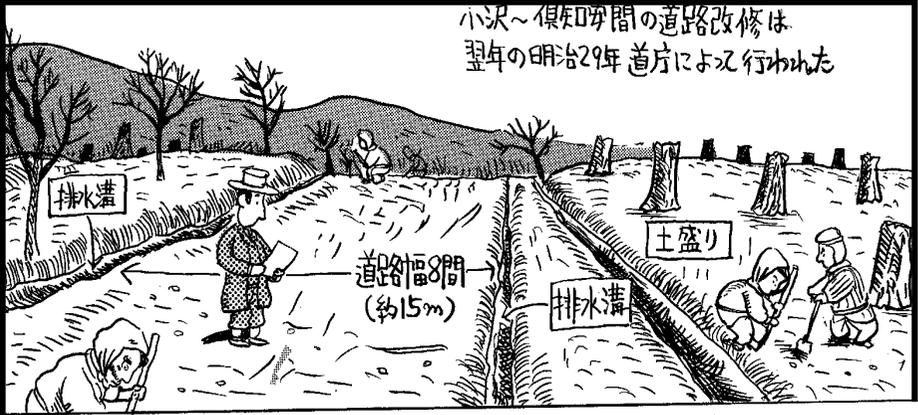
この時点で俱知安原野に  
おける戸数は424戸

人口は  
一戸平均の  
家族を3人と  
して1,272人と  
推定される

(組長)

1番組 17戸	8番組 8戸	5番組 22戸 高田伊三太
2番組 11戸 鈴木六左衛門	9番組 28戸 泉菊二郎	16番組 27戸
3番組 19戸 山田幸	10番組 31戸 小田三郎	17番組 21戸 山本保三郎
4番組 25戸 鎌田信次	11番組 19戸 (山陰団体)	18番組 27戸
5番組 24戸 阿部伴平	12番組 21戸 米田知一	19番組 21戸
6番組 8戸	13番組 7戸 (出雲団体) 鈴木重慶	20番組 22戸 辺見梁太郎
7番組 24戸 藤沢熊吉	14番組 18戸 小松安三郎	

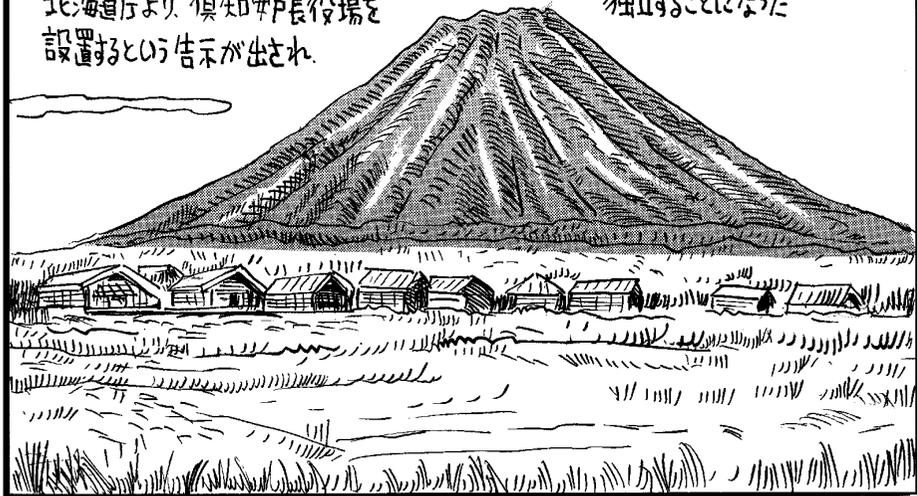






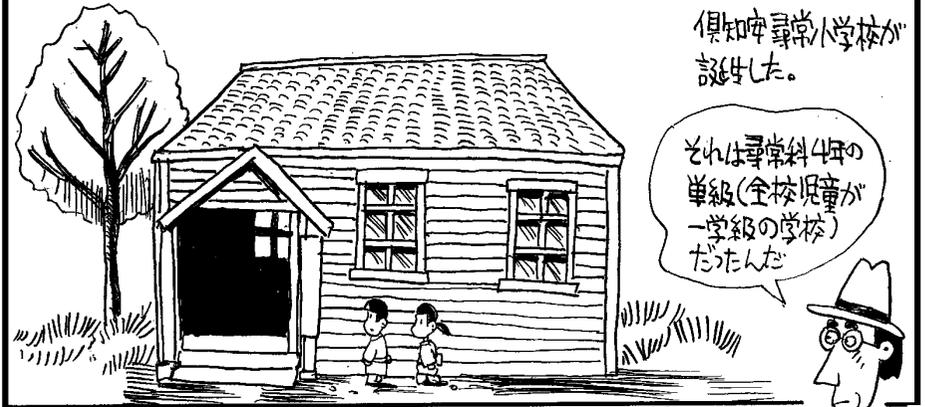
明治29(1896)年4月19日  
北海道庁より、倶知安戸長役場を  
設置するとの告示が出され。

倶知安村は虫田村から  
独立することになった



明治29(1896)年9月11日

倶知安で初めての  
倶知安尋常小学校が  
誕生した。



通学区域は全村



4月25日  
倶知安戸長役場開設



4月28日  
倶知安戸長 大井幹雄着任



5月5日 新戸長が着任して  
初めての組長会議が開かれ  
学校新築の件が話しあわれた



建築費は賦課方式ではなく  
寄付方式に決まる  
設立委員には...



校長は糸巻部の私塾で  
教えた上田甚助が  
着任



校舎は現在の倶知安神社  
社務所北側の丘の下に  
建てられた

校舎の総坪数は32坪  
総建築費210円  
(50円 国費神庫金)  
(160円 村民の寄付)



明治31(1898)年  
俱知安第一尋常小学校  
明治42(1909)年  
6年生に  
明治43(1910)年  
八幡小学校と  
昭和三十九(1964)年3月  
閉校

広い俱知安原野に広範囲に  
わたって入植が行われた俱知安  
では...

小学校一校では通学範囲が  
広過ぎて馬車や徒歩での通は  
時間がかかり大変な事だった

とても一校では足りなかった

明治30(1897)年11月2日  
道方は官制を改正  
郡役所を支庁とした

明治30年9月1日  
郵便局が開局

明治32年(1899)年5月9日  
俱知安村は室蘭支庁から  
岩内支庁の所屬に

明治31(1898)年6月8日  
俱知安第二尋常小学校設立

前年の明治30年6月に  
山陰移住会社が農場内の  
子どもたちのために私塾を開いた。  
明治31年3月 校舎を新築し  
俱知安尋常小学校 俱登山分校と  
して開校。6月に第二尋常小学校になる

俱知安第三尋常小学校設立

明治31(1898)年12月1日

明治30年 基線西59番地(現北4条西2丁目)に  
山本弥平、宮脇胤麿、山田邦吉、小松山三郎らが  
中心となり、320余円の寄付金と600坪の  
土地を得、30坪の校舎を新築  
明治31年12月1日 俱知安第三尋常小学校と  
して開校

明治32(1899)年4月  
再び50余円の寄付を募り、  
校舎34坪を増築。  
当時の郵便局長 河合篤叙は...

是非高等小学校  
を作るべきだ

河合篤叙

と云い 高等小学校を私立で設立

その後 明治38(1905)年 公立化  
明治42(1909)年 第三尋常小学校と合併  
第三尋常高等小学校となる。

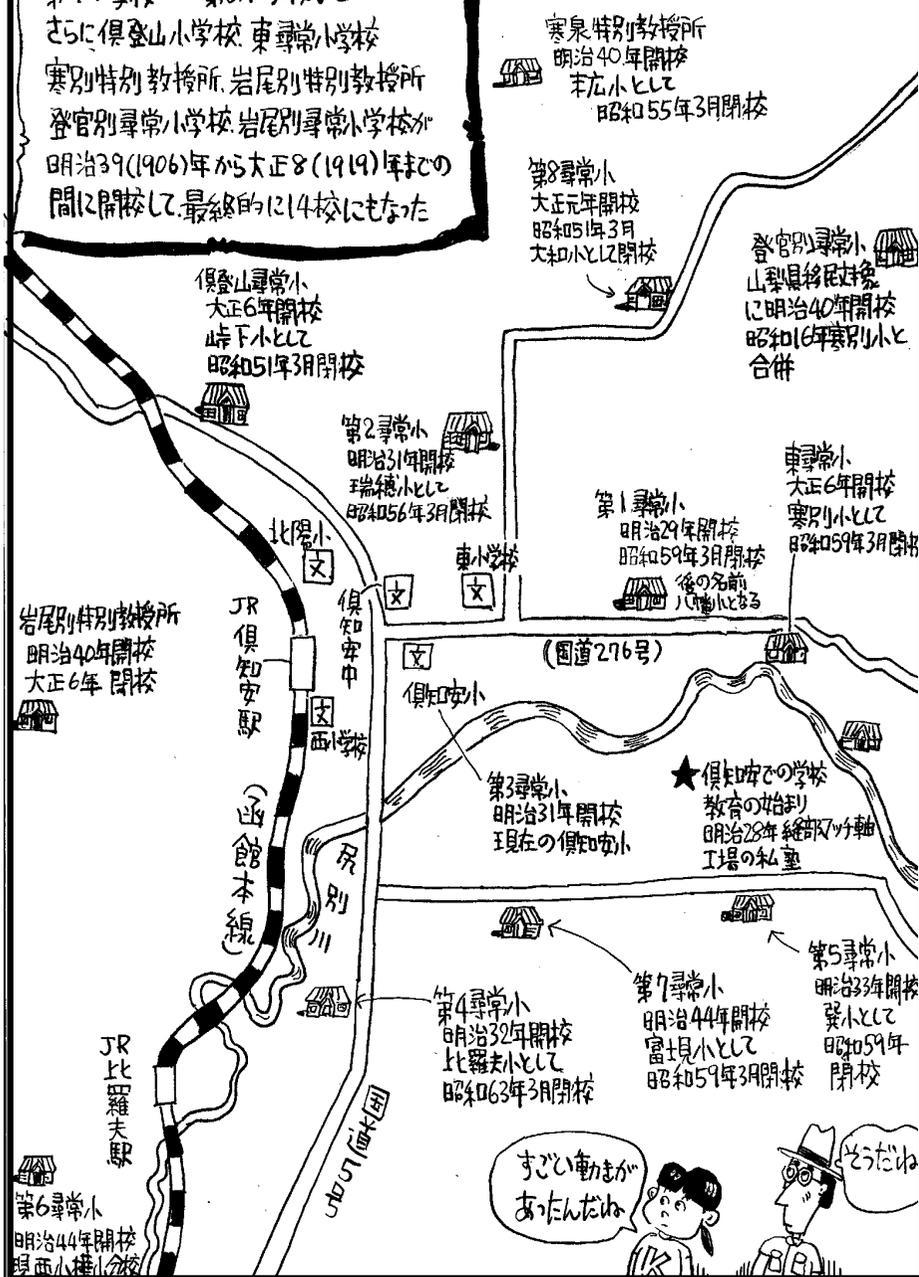
第三尋常小学校はその後 場所を  
移転し、大正9(1920)年11月7日に  
現在の南3条東3丁目に移転。

昭和6(1931)年4月15日  
俱知安尋常高等小学校となる  
現在の俱知安小学校である

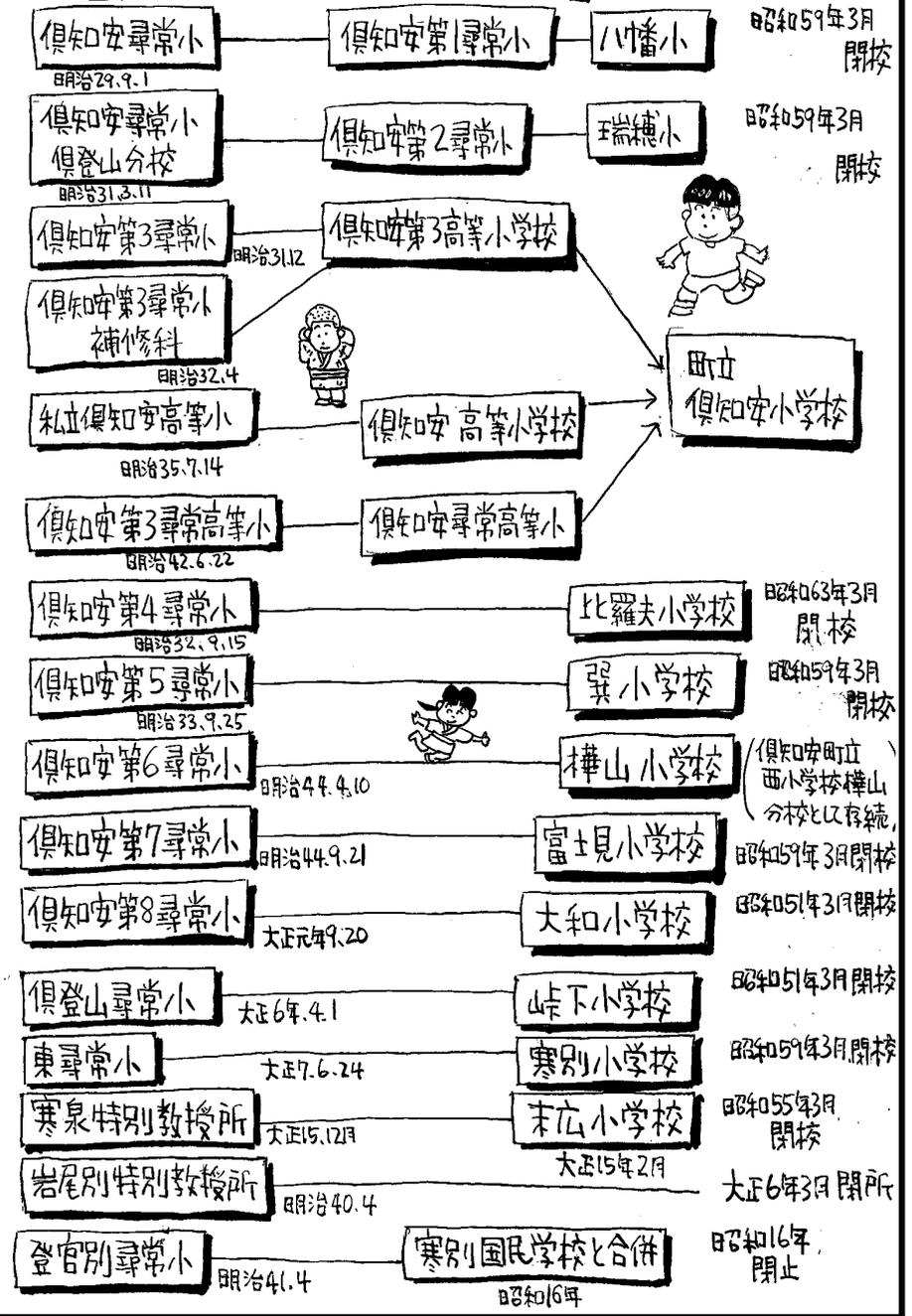
その後、それぞれの入植地ごとに  
小学校は開校し、  
第4小学校～第8小学校まで  
さらに倶登山小学校、東尋常小学校  
寒別特別教授所、岩尾別特別教授所  
登官別尋常小学校、岩尾別尋常小学校が  
明治39(1906)年から大正8(1919)年までの  
間に開校して、最終的に14校にもなった

### 小学校の開校とその後の変遷

明治29(1896)年～大正8(1919)年



### 倶知安の小学校の変遷



この時代の俱知安の行政予算を見こみよう!!

この頃の1円は現在の約2万円の価値だと言われている

明治33年度の予算案  
総額 5,471円40銭

内訳 戸別割賦課金 3,654円7厘  
道庁補助金、雑収入  
前年度繰越金、その他 1,817円39銭3厘

支出  
会議費 140円  
土木費 1,900円  
教育費 2,307円80銭  
衛生費 137円75銭  
木匠費 720円  
村費徴収費 96円50銭  
臨時費  
教育費 90円(第二尋常小へ)  
雑費 200円

教育費2,307円80銭と村費の42.21%を占めている

明治44年度の教育予算(後志支庁が俱知安に置かれた翌年)  
総額 15,008円  
村費の47%に達したんだ!!

本州の地から入植してきた人々にとって子どもたちに教育を与えることはとても大切なことだった

そして小学校は各入植地域において住民同志の心の絆のよりどころだったね

入学式、運動会、学生会、参観日、餅つき、卒業式

現在の小学校数は4校  
明治時代の3倍になりました

俱知安の街は現在農業と国際化したスキリゾートの街と少しずつ変わってきたけど...

かつて開拓者の地に入植した人々が生活が安定せず苦しい中でお互いにお金を寄付して役場や警察、そして学校を作った

こんな努力を重ね、真金に街づくりに取り組んだ歴史を絶対忘れてはいけない!!

漫画くっちゃん昔ばなし  
第3章「俱知安の行政と小学校の始まり」  
2017.1.15

制作：一般社団法人 俱知安観光協会  
監修：俱知安風土館  
漫画：石川寿彦  
編集：有限会社エーピーアイ  
©2018一般社団法人 俱知安観光協会